

Opportunities to communicate in English in a real and meaningful way may be limited in Japan, but they do exist. Go find them!!

大学における英語学習の意味： 英語との心地よい付き合い方を見 つけよう(2)

語学教育研究室
古荘 智子

1. はじめに

先々回 (No.24) に続き e-learning を利用し、「楽しく、手軽に」できる英語学習法を紹介します。言語を習得するために、ある程度時間をかけ学習を積み重ねていく必要があります。学習すること自体が楽しい、あるいは、学習内容に興味があり面白い、と感じられることは、自律的にコツコツと学習を継続し、やがて高い目標をクリアするために必要な原動力になります。苦痛や不快ばかりが伴う作業は、短期間ならば耐えられますが、長続きはしないことを、私を含めて皆さんも経験を通し、よくご存知のことでしょう。「ああ、楽しいなあ」と、夢中になって取り組んでいるうちに英語の力がついていたら理想的です。「英語を勉強する」ことを意識せず、英語を通して自分の好きなもの、興味があることへの世界を広げるのだ、と考えると、英語に対するアプローチが今までとは少し変わってくるのではないのでしょうか。そのようなことを踏まえて、今回は web 上の映像メディア (動画) を使った英語学習法を紹介したいと思います。

2. English Central を使った英語学習

English Central (<http://www.englishcentral.com>) は英語学習者に提供されている Web 上の無料サイトです。他大学では、正規の授業で利用しているところもあり、学会では発話の流暢さ (fluency)

の向上などに関する学習効果が発表されています。筆者も本学のある授業で、補助教材として取り入れています。毎回授業の導入として、短い時間利用する程度ですが、受講生は自分の好きな動画を使い、オーセンティックな英語 (英語教材用に加工していない、生の英語) を視聴しながら、マイクに向かって自分もセリフを声に出して録音する、するとスコアが表示される、という作業に、斬新さも手伝って、楽しそうに取り組んでいます。先週の授業では多くの受講生が、つい先日亡くなった前アップル CEO スティーブ・ジョブズ氏に関する『スティーブ・ジョブズの印象に残る瞬間』というクリップを視聴していました。教材として利用するコンテンツはこのようなホットなトピックから、ニュース、CM、有名人のスピーチ、『ローマの休日』のようなクラシック映画や『崖の上のポニョ』の英語版に至るまで、ありとあらゆるジャンルのものが含まれています。簡単な操作で視聴できますので、皆さんもぜひ一度試して下さい。

2-1. 利用方法

English Central の利用方法を流れに沿って簡単に説明します。1) まず初めにビデオクリップを選びます。クリップの数が非常に多いので、好みや目的別にカテゴリ分けされた中から選択するか、もしくは、英語の難易度を目安に選択します。2) 次に、ビデオを視聴します。音声は英語のSCRIPTと日本語和訳によって確認できますが、必要がなければ非表示に設定する事も可能です。3) 再度ビデオを再生します。今回は、1センテンスごとに、ポーズが置かれますので、そこで自分の音声を録音します。録音が終了するとすぐに採点結果 (スコア) が表示され、それと同時に画面上には、発音矯正が必要な単語が点減し、ポイントアドバイスがフィードバックされます。うまく発音できなかった単語をマウスオーバーすると、モデルの発音を聴くことができ、そこで発音の練習ができます。また、録音した自分の音声を再生して、発音をチェックしたり、モデルの音声と自分の音声を比較しながら聞き直すこともできます。4) 正しい発音を聞きながら何度か練習し、録音→採点を繰り返し、スコアを目安に完成度を高めていきます。納得がいくまでスコアを伸ばしたら (満点があります)、次のセンテンスへと進

みます。すべてのセンテンスが終了すると、合計得点と評価（A+～F）が表示されます。学習が終了したクリップは、学習履歴へ記録されます。1つのビデオクリップは約1分程度で、ビデオ学習にかかる時間は約10分～15分ほどです。

3. 既知語の知識を生かそう

筆者は以前から、受講生の皆さんは、比較的沢山の単語の知識があるにも拘わらず、正確に発音できない単語が多いこと、そして音読が苦手であることに問題を感じていました。単語と音声結びつかなければ、スピーキング、リスニングに支障をきたします。特にリスニングは、1つ1つの単語の発音の正確さに加えて、2つ以上の単語の組み合わせによって起きる、音の融合や連結などの現象や、あるいは日本語にはない英語独特のリズムや強勢などを理解し、慣れておくことが大切です。

話を戻しますが、担当科目の受講生の皆さんには、毎学期始めと終わりに語彙サイズを測るテストを行っています。テストの結果から、多くの受講生の皆さんが、自律的な英語学習者に必要とされている最初の閾（いき）値をクリアしている、またはそれに近いレベルであることが示されています。苦勞して覚えた単語を、実際に使えなければ勿体ないと思いませんか。既知語（知っている単語）を使って、自分の好きなアーティストのインタビューや、映画のセリフなどを声に出しながら、自然に無理なく英語独特の発音やアクセント、音のつながりやリズムに慣れ、自分のものにしてみてはいかがでしょうか。その過程で遭遇する知らない単語は、その都度覚えていけばよいのです。

4. むすび

英語学習を取り巻く環境は、情報機器やメディアの発展により、驚くほど進歩し、変化しています。それに伴い、映像メディアを使った英語の指導に関する実践や研究も盛んに行われています。今までは、英語に興味を持てなかった学習者の皆さんに、そして、英語をもっと勉強したいと思っている皆さんにとって魅力的な英語の学習方法や教材は、きっと沢山あると思います。授業内外で学習者の皆さんが、英語と心地よく付き合える方法（個々人に合った学習方法）を見つけ、それによって自律的・継続的に目標へと向かっていける

ようサポートすることもまた、英語の教員にとって重要な役割の一つであろうと思っています。TOEICのような即戦力的で、テストの結果（点数）ばかりが重視される時代ではありますが、興味の赴くまま知識の世界を広げ、深めていく、そのプロセスを楽しみながら、自分の学びのスタイルを確立していく作業もまた大学時代には大切なことのように思います。なお、追記になりますが、上述した『スティーブ・ジョブズの印象に残る瞬間』の中で、ジョブズ氏がスタンフォード大学の卒業式で行ったスピーチの全文と動画が、スタンフォード大学のサイト <http://news.stanford.edu/news/2005/june15/jobs-061505.html/> に掲載されています。また、英語と日本語字幕付き動画は <http://sago.livedoor.biz/archives/50251034.html> などで視聴することができます。ジョブズ氏のスピーチには、やがては社会へとばばたく大学生の皆さんにとって腹に落ちる言葉が散りばめられていると思います。是非視聴して下さい。

D.H. ロレンス作 『処女とジプシー』に登場 する黒い男

経営学部
山田 晶子

文化的生活（既知の世界）と非文化的生活（未知の世界）の対立は、ロレンスの多くの作品の中心テーマである。彼は、世界各地を回り、ついにニューメキシコへ至る。そこで白人文明に汚染されていないニューメキシコの砂漠の偉大な美、誇り高い純粋さに感動した。赤色インディアンの踊りは宗教的なものであり、大地へ吸い込まれるような印象を与えた。ロレンスの、表面の下へ行きたいという願いを彼らは成就しているのであり、それにより強さ、力、精力を与える偉大な宇宙の生命力の根源と接触しているのである。ロレンス